

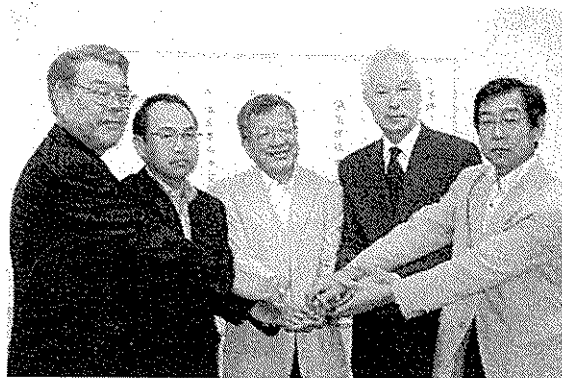
県道路公社とコンサル4団体

災害協定を締結

神奈川県道路公社と、神奈川県測量設計業協会（永井博記会長）と神奈川県地質調査業協会（和田陽一会長）、神奈川県建設コンサルタンツ協会（大坂俊彦会長）、建設コンサルタンツ協会関東支部（友澤武昭支部長）の4団体は14日、「災害

時における測量、地質調査、設計に係る応急対策業務に関する協定」を締結した。写真。大雨や地震などで災害が発生したり、発生する恐れがある場合、同公社が団体に支

援を要請。各団体が二次災害の防止や施設の復旧に必要な測量や地質調査、設計などを実施する。



協定締結に当たり、同公社の一杉雄二理事長が「昨年9月の台風9号では、公社が管理する真鶴道路でも大きな被害が発生した。先日の岩手・宮城内陸地震では、山全体が崩壊するような地すべりも起きており、山間地

を通過する路線が多い公社の所管道路でも、従来の枠組みを越えた対策の必要性を感した」と述べるとともに、「公社管理道路の安全・安心確保に力を貸してほしい」と訴えた。